

マイサーバーサービス 利用マニュアル
(アカウント設定)

マイサーバーVPS compact

RIMNET <http://www.rim.or.jp/support/>

Members Guide Book **2010/07**

はじめに

本利用マニュアルでは、マイサーバーVPS compact の「アカウント」設定を解説します。

目次

はじめに	1
目次	1
1. アカウント設定	2
1-1. 概要	2
1-2. ユーザー管理	2
1-3. ユーザー追加	8
1-4. CSV一括ユーザー登録	10
1-5. CSV一括ユーザー削除	13
1-6. CSV一括ユーザー保存	15
1-7. グループ管理	16
1-8. グループ追加	17
1-9. アクセス権限設定	18
1-10. アクセス権限一括設定	20
1-11. アクセス権限初期化	21
1-12. テンプレート設定	22

1. アカウント設定

1-1. 概要

HDE Controller にログインし、「アカウント」のアイコンをクリックします。
次項の項目に従って設定及び確認を実施してください。

1-2. ユーザー管理



サーバーや特定のサービスにアクセスするためには、サーバー上にユーザーアカウントが設定されている必要があります。

ユーザーごとに利用環境等を個別に設定することができます。

ユーザーの管理の簡便化を図るためにグループが設定できます。

グループを設定することで、ユーザーごとの設定だけでなく、ユーザーをひとまとまりに考えたグループごとの設定を行うことができます。

システム管理者は、リアルドメインのアカウントを設定・管理します。

バーチャルドメインのアカウント設定・管理は、通常各バーチャルドメインの管理者が行います。

システム管理者がバーチャルドメインにログインして管理することも可能です。

●ユーザー管理

ユーザーアカウントを編集、削除します。

ユーザー検索 表示件数 10

システムアカウントを表示する 最小表示件数:1

全1件
ユーザーの頭文字 | - | [全て表示](#)

状態?	ユーザー名	説明	詳細	<input type="button" value="全て削除"/>
	ladmin		<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

●ユーザーの検索

ユーザーアカウントを検索します。

「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。

一度に表示する検索結果の最大件数を変更する場合「表示件数」の値を変更します。

検索結果にシステムアカウントを表示する場合「システムアカウントを表示する」にチェックをし「検索」を選択します。

「検索」をクリックして検索を実行します。

ユーザー名の頭文字で検索する場合「ユーザーの頭文字」から選択します。

全てのユーザーを表示させる場合は「全て表示」をクリックします。

●ログイン/メール/FTPの許可状況

ユーザーのログイン/メール/FTPの許可状況が表示されます。

全1件
ユーザーの頭文字 | - | [全て表示](#)

状態?	ユーザー名	説明	詳細	<input type="button" value="全て削除"/>
	ladmin		<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

ログイン/メール/FTPの許可状況を変更する場合

「編集」をクリックして該当項目を変更します。

●ユーザー設定の編集

アカウントを編集する場合は、「編集」ボタンをクリックします。

アカウント編集画面が表示され、以下の項目について設定ができます。

●ユーザー設定変更

ユーザー設定変更	
ユーザー名(ログイン名)	ladmin
パスワード	<input checked="" type="checkbox"/> パスワードを変更する 入力には「*」(アスタリスク)、または「●」(黒丸)で表示されます。
パスワード(再入力)	
グループ	ladmin
追加情報(本名など)	(空欄でも可)

OK Cancel

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

●ユーザーパスワードを変更する場合

「パスワードを変更する」にチェックをし、「パスワード」にパスワードを入力します。

※このパスワードはHDEにログイン、FTPするためのパスワードです。

メールパスワードの変更は「メール設定」で行います。

グループを変更する場合「グループ」のメニューから選択します。

必要に応じて「追加情報(本名など)」を入力します。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。


「OK」をクリックして、ユーザー一覧画面に戻り


「設定する」をクリックして設定を終了します。

●メール転送設定

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
--------	----------------	-------	------

メールの転送に関する設定

ユーザー名(ログイン名)	lccadmin
メールの転送先	<div style="border: 2px solid red; height: 60px; width: 100%;"></div> <p><input checked="" type="checkbox"/> メール転送を行う場合に、このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す</p> <p> メール転送先の設定は慎重に行ってください。メールアドレスが間違っていると、メールが届かなくなるだけでなく、他人に迷惑をかける恐れがあります。</p>

 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

受信したメールを、他のメールアドレスへ転送するための設定を行います。

転送先となるアドレスを「メールの転送先」に入力します。

複数のメールアドレスを指定する場合

半角スペースか、カンマで区切るか、1つずつ改行して入力することで登録できます。

転送するメールを、サーバーに保存しておきたい場合

「メールの転送を行う場合に、このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す」を選択します。

※同じドメインに転送する場合でも、表記はドメイン付きにする必要があります。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

「OK」をクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」をクリックして設定を終了します。

●メール設定

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
--------	---------	--------------	------

メールについての設定

ユーザー名(ログイン名)	icadmin
パスワード②	<input type="checkbox"/> パスワードを変更する。
(再入力)	
メール認証②	<input checked="" type="radio"/> POP及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> 利用不可

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

メールパスワードなどメールの基本的な設定を行います。

パスワードを変更する場合

「パスワードを変更する」にチェックをし、「パスワード」欄にパスワードを入力します。

メールを利用不可に変更する場合

メールで「利用不可」を選択します。

メール受信時の認証を APOP だけに限定してメールを利用可能にする場合

「APOP のみで認証」

POP だけに限定してメールを利用可能にする場合

「POP のみで認証」

POP でも APOP でもメールを利用可能にする場合

「POP 及び APOP で認証」を選択します。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

「OK」をクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」をクリックして設定を終了します。

●制限設定

シェルやFTPの利用、アカウントの有効期限、ホーム領域やメールスプール領域の制限設定を行います。

ユーザー設定	メール転送設定	メール設定	制限設定
制限項目			
ユーザー名(ログイン名)	ladmin		
シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>		
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可		
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限 <input type="radio"/> ---- 年 -- 月 -- 日		
ホーム領域制限	警告容量 <input type="text" value="100"/> MBytes 最大容量 <input type="text" value="200"/> MBytes		
メールスプール領域制限	<input type="text" value="100"/> MBytes		

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

シェルの利用を許可する場合、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は「利用不可」を選択します。

FTPの利用を許可する場合は「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

アカウント有効期限を設定する場合は、有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

ホーム領域制限を設定する場合

「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。

なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

「OK」をクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」をクリックして設定を終了します。

●ユーザーの削除

状態?	ユーザー名	説明	詳細	
	ladmin			

全1件
ユーザーの頭文字 | l | 全て表示

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

既存のユーザーを削除します。

ユーザー一覧画面で「削除」をクリックします。

削除を取りやめたい場合はもう一度ボタン(「取消」)をクリックします。

画面に表示されているユーザーを全て削除する場合は「全て削除」をクリックします。

取りやめたい場合は削除と同様にもう一度ボタン(「取消」)をクリックします。

「設定する」をクリックして設定を終了します。

1-3. ユーザー追加

HDE Controller
HOME >> アカウント

- ユーザー管理
- ユーザー追加**
- OSV一括ユーザー登録
- OSV一括ユーザー削除
- OSV一括ユーザー保存
- グループ管理
- グループ追加
- アクセス権限設定
- アクセス権限一括設定
- アクセス権限初期化
- テンプレート設定

Linuxにアクセスしたり、特定のサービスに必要があります。また、各ユーザーごとの管理の簡便化を図るためにグループが設けられ、ユーザーをひとまとまりに考えたグループ

新規にユーザーを追加します。

ユーザー追加画面には、テンプレート設定で指定した値が初期値として表示されます。

あらかじめテンプレート設定を行っておくことでユーザー追加がスムーズに行えます。

テンプレート設定を行っていない場合は先にテンプレート設定を行うことをお勧めします。

●ユーザー追加

ユーザー追加

あと949人のユーザーを追加することができます。

ユーザー名(ログイン名)	<input type="text" value="testuser"/>	
パスワード	<input type="password" value="*****"/>	適切な長さです。
パスワード(再入力)	<input type="password" value="*****"/>	一致しています。
グループ	<input type="text" value="ログイン名と同じにする"/>	
追加情報(本名など)	<input type="text"/>	
シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>	
メール	<input checked="" type="radio"/> POP 及び APOP で認証 <input type="radio"/> POP のみで認証 <input type="radio"/> APOP のみで認証 <input type="radio"/> 利用不可	
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可	
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限 <input type="radio"/> ---- 年 -- 月 -- 日	
ホーム領域制限	警告容量 <input type="text" value="100"/> MBytes 最大容量 <input type="text" value="200"/> MBytes	
メールスプール領域制限	<input type="text" value="100"/> MBytes	

追加するユーザー情報の設定を行います。

- ・「ユーザー名(ログイン名)」、「パスワード」を入力します。
- ・「グループ」のメニューから、
「ログイン名と同じにする」
「デフォルトグループ (users) を使う」のいずれかを選択します。
グループを作成すると追加したグループ名も表示されます。
- ・必要に応じて「追加情報(本名など)」を入力します。
- ・シェルの利用を許可する場合
シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、
「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。
シェルの利用を許可しない場合は「利用不可」を選択します。
- ・メールを利用不可に変更する場合

「利用不可」を選択します。

- ・メール受信時の認証を APOP だけに限定してメールを利用可能にする場合
「APOP のみで認証」
 - ・「POP」だけに限定してメールを利用可能にする場合
「POP のみで認証」
 - ・「POP」でも「APOP」でもメールを利用可能にする場合
「POP 及び APOP で認証」を選択します。

 - ・FTP の利用を許可する場合
「FTP」の利用を許可する場合は「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

 - ・アカウント有効期限を設定する場合
有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

 - ・ホーム領域制限を設定する場合
「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。
ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。
ホーム領域制限を設定しない場合は「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。

 - ・メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。
メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。
- 「設定する」をクリックして設定を終了します。

1-4. CSV一括ユーザー登録



リアルドメインにユーザーを一括して登録します。

●CSV一括ユーザー登録

ファイルをアップロードしてユーザーを追加する

一括登録するユーザーの情報をテキストファイルに保存し、そのファイルをアップロードすることでユーザーを追加します。
ファイルの書き方について: ?

⚠ ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、既に存在するユーザーを追加しようとしたときには、エラー内容を表す警告ウィンドウが表示されます。この場合、ユーザー追加は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

⚠ 「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない事があります。

平文パスワードのかわりに、ハッシュ化パスワードを指定する(※APOPはパスワードを設定しなおすまで使用できなくなります)

ユーザーリストのファイルをアップロードする場合は、

「ファイルをアップロードしてユーザーを追加する」の画面で、ファイルのパスを入力するか、「参照」ボタンをクリックし、ファイルの指定ウインドウからファイルの場所を指定します。

パスワードがハッシュ化パスワードの場合は

「平文パスワードのかわりにハッシュ化パスワードを指定する」にチェックをします。「追加」をクリックして登録します。

●手入力ですべてユーザーを追加する場合

手動ですべてユーザーを追加する

一括登録するユーザーを手入力、あるいはコピー&ペーストで指定します。
テキストの書き方について: ?

⚠ ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、既に存在するユーザーを追加しようとしたときには、エラー内容を表す警告ウィンドウが表示されます。この場合、ユーザー追加は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

平文パスワードのかわりに、ハッシュ化パスワードを指定する(※APOPはパスワードを設定しなおすまで使用できなくなります)

手入力の場合は「手動ですべてユーザーを追加する」の画面でユーザー情報を入力します。

1行に1アカウントを書き方によって入力するか、コピー&ペーストで指定します。

パスワードがハッシュ化パスワードの場合は

「平文パスワードのかわりにハッシュ化パスワードを指定する」にチェックを入れます。「追加」をクリックして登録します。

●CSV一括ユーザー登録時のファイルおよび手入力での書き方

1. ユーザー名 (必須)
2. 平文またはハッシュ化パスワード、省略時はランダムで決定されます。
(追加後に表示されます。)
3. 本名などの付加情報

4. アカウントが所属するグループ名

(省略時はアカウント名と同じになります。存在しない場合は新たに作成されます。)

5. ログインシエル

6. 転送メールアドレス

7. メールパスワード

8. メール設定

(-1:不可 / 0:POP&APOP / 1:APOP / 2:POP)

9. ユーザーの有効期限

(YYYY/MM/DD)

10. FTP ログインの可否

(0:可 / 1:不可)

11. メールプール制限容量

[bytes]

12. ディスク制限容量

(soft limit) [kBytes]

13. i ノード制限数

(soft limit)

14. ディスク超過許容量

(hard limit) [kBytes]

15. i ノード超過許容数

(hard limit)

16. ユーザーID

※設定例

test01, test01, . . . , a. bbb@ejworks. com, test01, 0,

登録するとデータをローカルにダウンロードするボタンがあるので、必ずダウンロードしてください。

一括でのファイル削除やバックアップが行えます。

「追加」をクリックして登録します。

※一括登録時に指定されたメールプール容量が 1MByte 未満の値だった場合

ユーザー管理の編集画面より制限設定を行いますと設定値が 1MByte へ切り上げられます。

※半角カナ／全角文字がファイル名、またはパスに含まれる場合

アップロードが正常に実行できないことがあります。

1-5. CSV一括ユーザー削除



リアルドメインに登録されているユーザーを一括して削除します。

●CSV一括ユーザー削除

ファイルをアップロードしてユーザーを削除する

一括削除するユーザーの情報をテキストファイルに保存し、そのファイルをアップロードすることでユーザーを削除します。

ファイルの書き方について: ?

⚠ ファイルやテキストの書き方が間違っていたり、存在しないユーザーやシステムアカウントを削除しようとしたときには、エラー内容を表す警告ウインドウが表示されます。この場合、ユーザー削除は一切行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

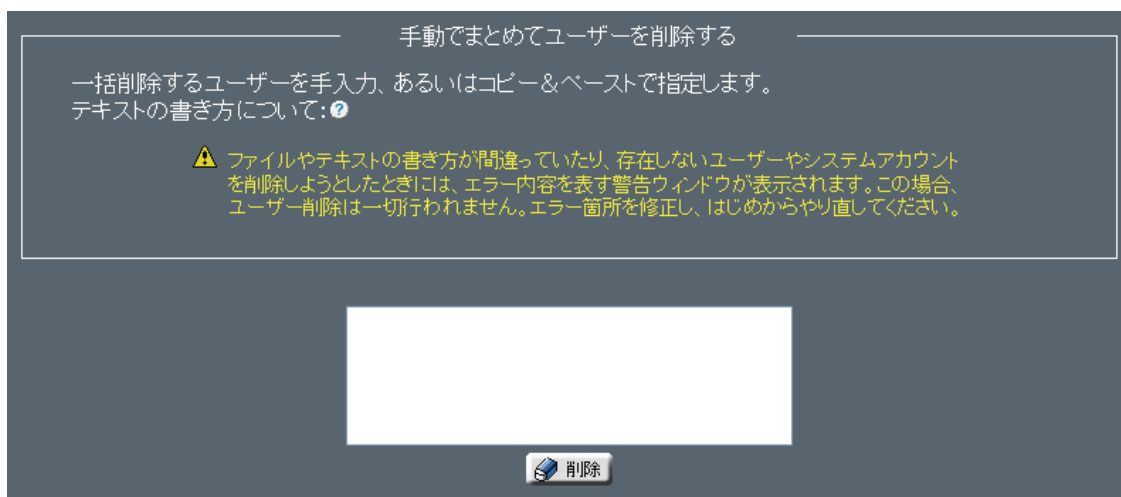
⚠ 「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない事があります。

ユーザーリストのファイルをアップロードする場合は

「ファイルをアップロードしてユーザーを削除する」の画面でファイルのパスを入力するか、「参照」をクリックしてファイルの指定ウインドウからファイルの場所を指定します。

「削除」をクリックします。

●手入力でもとめてユーザーを削除する場合



手入力の場合は「手動でもとめてユーザーを削除する」の画面でユーザー情報を入力します。
入力形式は、「(1-4 参照) CSV 一括ユーザー登録」の『一括管理の入力形式』をご参照してください。

「削除」をクリックして削除します。

※半角カナ／全角文字がファイル名、またはパスに含まれる場合、アップロードが正常に実行できないことがあります。

1-6. CSV一括ユーザー保存



デフォルトドメイン(リアルドメイン)に登録されているユーザー情報を、CSV形式のファイルに保存することができます。

●CSV一括ユーザー保存

CSV形式ファイルによる、ユーザー一覧のダウンロード


現在、このサーバーマシンに登録されているユーザーの一覧を、CSV形式のファイルとしてダウンロードすることができます。

⚠ 但し、平文パスワードを取得することはできないため、パスワードの欄にはハッシュ化パスワードが格納されます(チェックボックスをチェックした場合)。

保存内容について

1. ユーザー名
2. パスワード(ハッシュ化/パスワードの取得可)
3. 本名などの付加情報
4. アカウントが所属するグループ名
5. ログインシェル
6. 転送メールアドレス
7. メールパスワード(ハッシュ化/パスワードの取得可)
8. メール設定(-1:不可 / 0:POP&APOP / 1:APOP / 2:POP)
9. ユーザーの有効期限(YYYY/MM/DD)
10. FTPログインの可否(0:可/1:不可)
11. メールスプール制限容量[bytes]
12. ディスク制限容量(soft limit)[kBytes]
13. ノード制限数(soft limit)
14. ディスク超過許容量(hard limit)[kBytes]
15. ノード超過許容数(hard limit)
16. ユーザーID

パスワード欄にハッシュ化パスワードを格納する

 ダウンロード

「ダウンロード」をクリックし、保存場所を指定してダウンロードします。

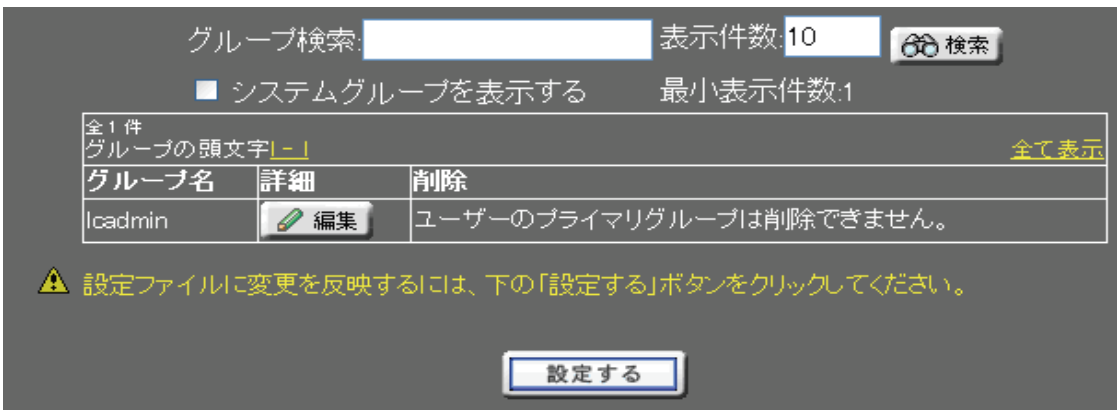
このファイルにはパスワードは、格納されません。

パスワードおよびメールパスワードの取得を行いたい場合

「パスワード欄にハッシュ化パスワードを格納する」にチェックを入れます。

1-7. グループ管理

グループの設定を管理、編集します。



●グループの検索

グループを検索します。

「グループ検索」に検索キーワードを入力します。

一度に表示する検索結果の件数を変更する場合は「表示件数」の値を変更します。

「検索」をクリックして検索を実行します。

システムグループを表示する場合、「システムグループを表示する」を選択します。

グループ名の頭文字で検索する場合、「グループの頭文字」から選択します。

全てのグループを表示させる場合、「全て表示」をクリックします。

●グループの編集

設定を編集したいグループの「編集」をクリックします。

メンバー設定画面が表示されます。

●グループの削除

削除したいグループの「削除」をクリックします。

取り消したい場合は再度ボタンをクリックします。

「設定する」をクリックして設定を終了します。

●メンバー設定

ladminグループのメンバー設定

このグループの管理者、およびこのグループに所属するメンバーを指定します。通常は、とくに指定する必要はありません。

グループの管理者

グループに所属するメンバー

OK Cancel

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

グループの管理者、および、メンバーを編集します。

管理者、および、グループに所属するメンバーを入力します。

「OK」をクリックします。

グループ一覧画面に戻り、「設定する」をクリックして設定を終了します。

1-8. グループ追加

HDE Controller

HOME >> アカウント

Linuxにアクセスしたり、特定のサービスに必要があります。また、各ユーザーごとの管理の簡便化を図るためにグループが設けられ、ユーザーをひとまとまりに考えたグループ

- ユーザー管理
- ユーザー追加
- OSV一括ユーザー登録
- OSV一括ユーザー削除
- OSV一括ユーザー保存
- グループ管理
- グループ追加**
- アクセス権限設定
- アクセス権限一括設定
- アクセス権限初期化
- テンプレート設定

●グループの追加

新規グループ追加

グループ名

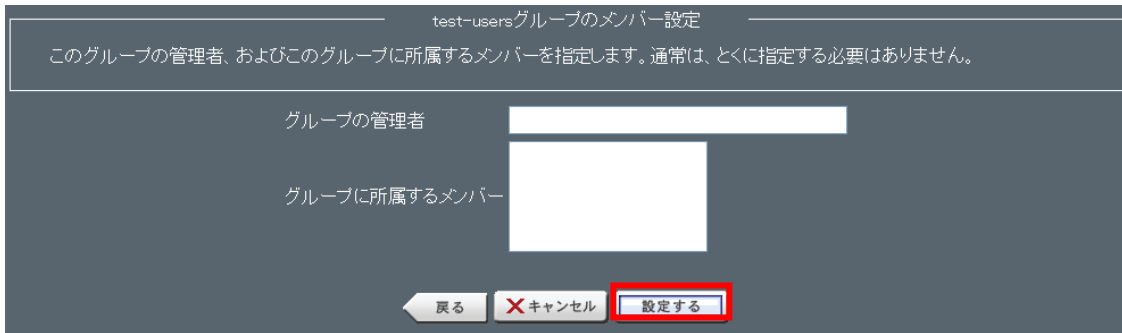
グループID この欄を空白にすると、グループIDは自動的に決定されます。

キャンセル 進む

グループ名、グループ ID を入力します。

グループ ID が空欄の場合は自動的に指定されます。

「進む」をクリックして、次の設定に進みます。



グループの管理者およびメンバーを指定します。
「設定する」をクリックして、設定を終了します。

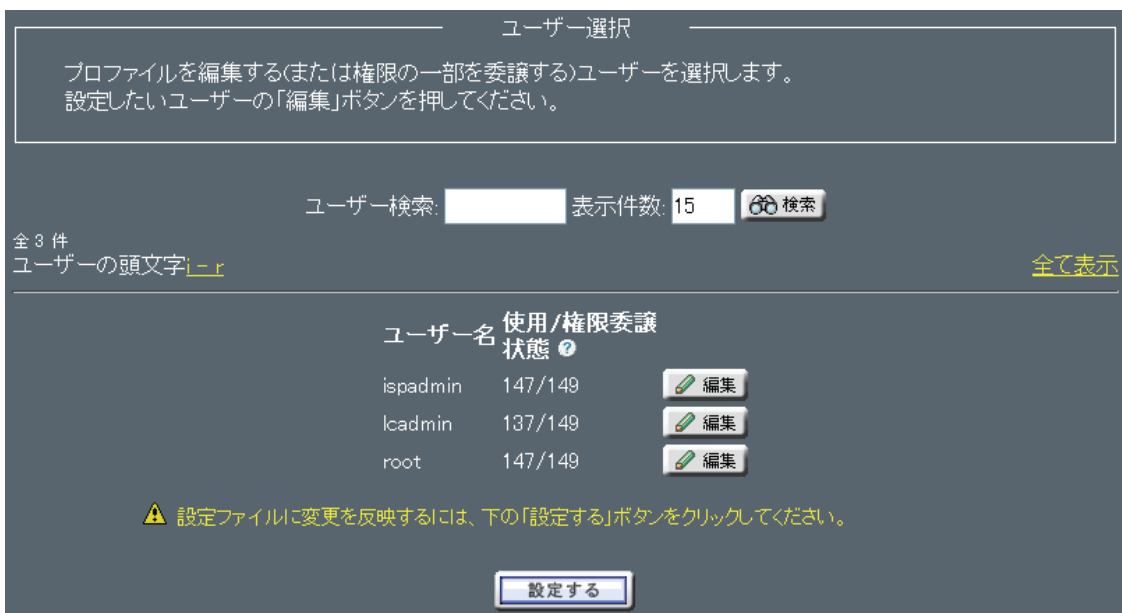
1-9. アクセス権限設定



ユーザーごとに利用を許可する(権限を委譲する)場合
HDE Controller のメニュー設定(アクセス権限設定)を行います。

●ユーザーの検索

ユーザーアクセス権限を管理するユーザーを検索します。
「ユーザー検索」に検索したいユーザー名の一部または全てを
検索キーワードに入力します。



検索結果の表示件数を設定する場合

「表示件数」に一度に表示する件数を入力します。

「検索」をクリックして検索を実行します。

ユーザー名の頭文字から検索する場合、「ユーザーの頭文字」からアルファベットの範囲をクリックします。

全て表示する場合、「全て表示」をクリックします。

使用/権限委譲状態では、

左側の数字が現在設定されているメニューの数

右側の数字がこのユーザーが使用可能なメニューの総数を表しています。

アクセス権限の変更を行う場合は、編集したいユーザーの「編集」をクリックします。

ユーザーの運用メニュー設定画面が表示されます。

運用メニュー設定

プロフィールを編集するかまたは権限の一部を委譲する運用メニューを選択します。
各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押してください。

ユーザー名: ispadmin

運用メニュー	使用/権限委譲状態	アクション
CGIインストール	4/4	全て カスタム 削除
DNSサーバー	8/8	全て カスタム 削除
FTPサーバー	1/1	全て カスタム 削除
HDE Controller設定	6/6	全て カスタム 削除
MySQL管理	6/6	全て カスタム 削除
NFS	2/2	全て カスタム 削除
NTPサーバー	2/2	全て カスタム 削除
OSアップデート	3/3	全て カスタム 削除
PostgreSQL管理	5/5	全て カスタム 削除
SNMPエージェント	5/5	全て カスタム 削除
Webサーバー	10/10	全て カスタム 削除
アカウント	11/11	全て カスタム 削除
オプション	2/2	全て カスタム 削除
グラフレポート	6/6	全て カスタム 削除
サーバーステータス	5/6	全て カスタム 削除
セキュアWebサーバー	5/5	全て カスタム 削除
セキュリティ	2/2	全て カスタム 削除
テープバックアップ	3/3	全て カスタム 削除
ディスク使用容量制限	3/3	全て カスタム 削除
ネットワーク	7/8	全て カスタム 削除
バーチャルドメイン	8/8	全て カスタム 削除
バックアップ	4/4	全て カスタム 削除
バックアップ管理	4/4	全て カスタム 削除
ファイアウォール	4/4	全て カスタム 削除
メーリングリスト	3/3	全て カスタム 削除
メールサーバー	9/9	全て カスタム 削除
ユーティリティ	1/1	全て カスタム 削除
ログ管理	3/3	全て カスタム 削除
個人情報管理	7/7	全て カスタム 削除
自己監視	7/7	全て カスタム 削除
初期セットアップウィザード	1/1	全て カスタム 削除

戻る

「使用/権限委譲状態」には、各メニューに属する権限の総数と、現在委譲されている権限の数が表示されます。

メニューに属する全ての権限を委譲する場合「全て」をクリックします。

委譲されている権限を全て取り消す場合、「削除」をクリックします。

メニューに属する権限を個別に設定する場合、「カスタム」をクリックします。

「カスタム」をクリックすると運用メニューに属する権限の設定画面が表示されます。

委譲する権限を選択、または取り消す権限の選択を解除し、「OK」ボタンをクリックします。

運用メニュー設定画面に戻り、更に「戻る」をクリックしてユーザー選択画面に戻ります。

「設定する」をクリックして設定を終了します。

1-10. アクセス権一括設定

root・ispadmin・ladminを除くユーザーに利用を許可する(権限を委譲する)HDE Controllerのメニュー設定(アクセス権設定)を一括編集します。



運用メニュー設定

プロフィールを編集するかまたは権限の一部を委譲する運用メニューを選択します。
各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押してください。

ユーザー名: ispadmin

運用メニュー	使用/権限委譲 状態	アクション
CGIインストール	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
DNSサーバー	8/8	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
FTPサーバー	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
HDE Controller設定	6/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
MySQL管理	6/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
NFS	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
NTPサーバー	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
OSアップデート	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
PostgreSQL管理	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
SNMPエージェント	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
Webサーバー	10/10	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
アカウント	11/11	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
オプション	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
グラフレポート	6/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
サーバステータス	5/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
セキュアWebサーバー	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
セキュリティ	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
テープバックアップ	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ディスク使用容量制限	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ネットワーク	7/8	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
バーチャルドメイン	8/8	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
バックアップ	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
パッケージ管理	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ファイアウォール	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
メーリングリスト	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
メールサーバー	9/9	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ユーティリティ	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
ログ管理	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
個人情報管理	7/7	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
自己監視	7/7	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除
初期セットアップウィザード	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> カスタム <input type="checkbox"/> 削除

[戻る](#)

各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合「全て」

使用する設定メニューを自分で選択する場合「カスタム」

設定メニューを使用しない場合「削除」を押してください。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

1-11. アクセス権限初期化

ユーザーごとに利用を許可する HDE Controller のメニューを初期化します。



アクセス権限初期化

HDE Controllerで利用出来るメニュー項目を制御する権限情報の初期化をすることができます。

⚠ HDE Controllerをアップデートした時に新規メニューが追加される場合がありますが、既に権限委譲情報が作成されているユーザー(HDE Controllerに一度でもログインしているユーザー)は権限委譲画面で手動で追加するか、このメニューにて初期化をする必要があります。

権限委譲の削除

- リアルドメインの権限委譲情報を削除する。
- 全てのバーチャルドメインの権限委譲情報を削除する。

1-12. テンプレート設定

ユーザー追加画面の初期値として表示する値の設定を行います。
同じような設定を持つユーザーを効率的に追加できます。



ユーザーテンプレート設定

ユーザーの追加時のデフォルトテンプレートを設定します。

シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
メール	<input checked="" type="radio"/> POP及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> 利用不可
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限 <input type="radio"/> ---年--月--日
ホーム領域制限	警告容量 <input type="text" value="100"/> MBytes 最大容量 <input type="text" value="200"/> MBytes
メールスプール領域制限	<input type="text" value="100"/> MBytes

シェルの利用を許可する場合

シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、

「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

メール受信時の認証を APOP だけに限定してメールを利用可能にする場合

「APOP のみで認証」

POP だけに限定してメールを利用可能にする場合

「POP のみで認証」

POP でも APOP でもメールを利用可能にする場合

「POP 及び APOP で認証」を選択します。

メールの利用を許可しない場合

「利用不可」を選択します。

FTP の利用を許可する場合

「FTP」の利用を許可する場合は「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

アカウント有効期限を設定する場合

有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

ホーム領域制限を設定する場合

「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。

ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空欄にします。

メールプール領域制限を設定する場合

制限を設定する場合は、制限値を入力します。制限しない場合は、制限値を空欄にします。

「設定する」をクリックし、設定を終了します。

マイサーバーサービス 利用マニュアル
(アカウント設定)
マイサーバーVPS compact

発行元：株式会社イージェーワークス

発効日：2010年7月9日 rev1

リムネット カスタマーサポートセンターの連絡先

電話窓口：0120-678-309

ファックス：045-472-2777

メール：support@rim.or.jp

受付時間：24時間365日

本マニュアルに記載されている内容の著作権は、原則として株式会社イージェーワークスに帰属します。
著作権法により、当社に無断で転用、複製等することはできません。